

P.2-3 じっくり見つめてみよう

ねらい 対象物から感じ取った特徴などをもとに、発見したよさや美しさを描き方を工夫して表す。

評価

- 👉 形や色彩、質感などに着目し、特徴、印象、美しさをとらえ、線の強さや水加減などを工夫して表している。
- 👉 特徴や美しさをもとに、形や色彩、質感などを表す工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。
- 👉 特徴や美しさなどをとらえて表すことに関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。

指導のヒント

- ・スケッチの題材では、ただ対象物を描かせるだけではなく、例えば「トマトのみずみずしい感じ」や「割れたボタンの寂しい感じ」などの主題を各生徒に持たせて取り組ませたい。
- ・事前準備として、質感、タッチ、ハッチングなどの言葉について調べておきたい。
- ・スケッチの途中に、対象物の構造や背景にある物語を想像させることで、形や色彩への理解をさらに深めることもできる。

作例



- ・生徒が感じ取った特徴やイメージを大切に、表したいことをどうすれば表現できるのか描き方を試行錯誤している過程も見取る。

教師用資料 見本

P.4-5 そのものらしさをとらえよう

ねらい 対象物から感じ取った特徴などをもとに、発見したよさや美しさを表現方法を工夫して表す。

評価

- 👉 形や色彩、質感などに着目し、特徴やイメージをとらえたり何かに見立てたりして、粘土などの材料を工夫して表している。
- 👉 特徴やイメージをもとに、形や色彩、質感などの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。
- 👉 身近なものからとらえた特徴などを工夫して表すことに関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。

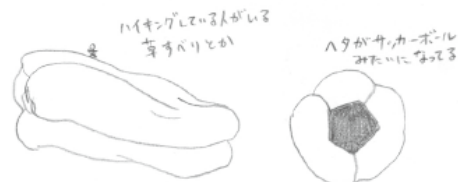
指導のヒント

- ・写実的な立体をつくるのが目的ではなく、生徒が感じ取った特徴や主題を表現させることがねらい。
- ・特徴をとらえるには、そのものの成り立ちや構造などにも着目させたい。
- ・二問目では、見立てやデイズマンなどもヒントにすると、より発想も広がるだろう。
- ・材料による特徴の違いに関連して、可塑性という言葉について説明しておいてもよい。

作例



- ・触れたときの量感や質感を言語化させるなど、生徒がとらえた特徴を表現しやすい方法で残させたい。また、さまざまな見方を試そうとしているかを見取る。



- ・実際には制作できないようなアイデアでも、五感を生かした発想や対象物から浮かんだ物語性などを大切にしたい。